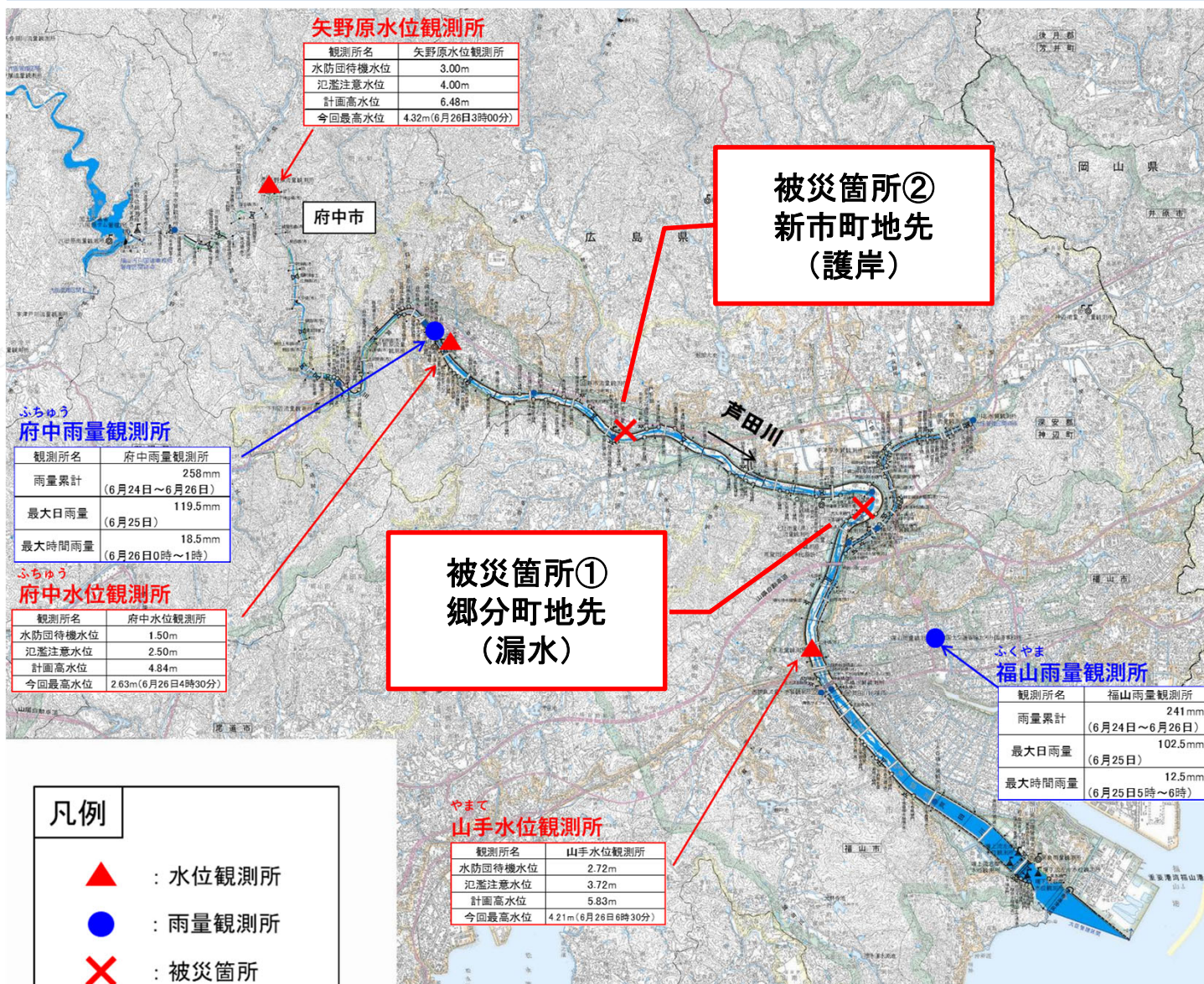


令和8年6月24日～26日出水概要

- 令和8年6月24日から26日にかけて梅雨前線が北上し西日本に停滞したため大雨となり、矢野原水位観測所では避難判断水位を超過し、山手水位観測所及び府中水位観測所では氾濫注意水位を超過しました。
- この出水で、郷分町地先(①)、新市町地先(②)が被災したことから、災害復旧工事を実施します。



<出水状況 山手水位観測所>



6月26日 6時30分頃の状況
最高水位 4.20m

○被災した場所は昔の川の流れだった所で、芦田川の水が増えると、その分地下にも水が入り込み、堤防の下を通りやすくなります。この結果、特に表面の土が薄い場所では、地下の水が勢いよく地面から噴き出すことがあります。

○この現象により堤防が壊れる原因となるため、鋼板を打ち込んで地下水を減らす工事を行います。

被災状況



○被災した場所は、川の中に砂がたまりやすい場所です。川の流れが護岸に集中してあたるため、護岸の土台が削られてしまいました。

○このため、川の底がえぐれてしまい、階段の護岸と石の護岸の安全性が保てなくなったことから、復旧工事を行います。

被災状況

